

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

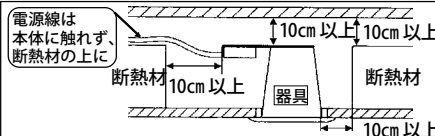
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 危険

●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

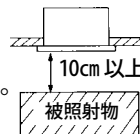
・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



器具は、断熱材・防音材・造営材等と左図のような空間を設けて施工してください。

⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト等の設備に触れないように施工する。火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取り付けや天井直つけ及び傾斜天井への取り付けはしない。火災・落下の原因となります。
- 必ず表示された定格電圧(100~242V)±6%の電源電圧で使用する。火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射面は10cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



⚠ 注意

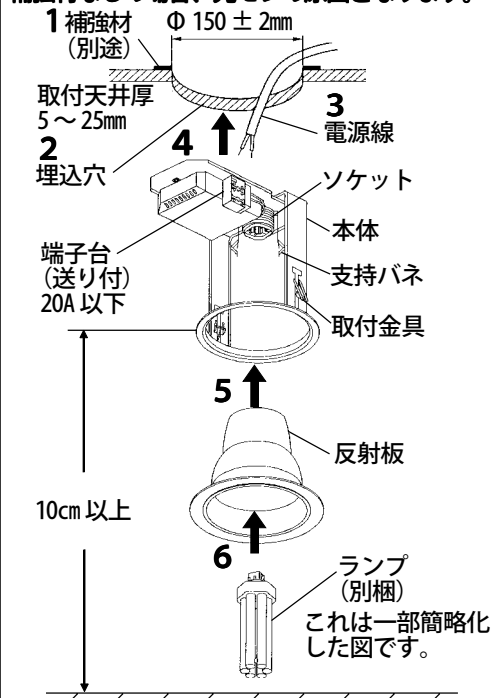
- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、水気の多い場所、湿気の多い場所、振動のある場所、軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以外では使用しない。火災またはランプ短寿命の原因となります。
- ライトコントロール、明暗スイッチなどと併用して使用しない。火災の原因となります。
- エコーケーブル等の硬い電線を使用する場合は、端子台に力がかからないように注意する。電源線接続時や本体取り付け時に端子台に過度の力がかかり、端子台破損・はずれによる感電の原因となります。

施工上のご注意

- 蛍光灯は周囲の温度や風により明るさが変化します。プレナムリターン等の換気方式で器具への空気の出入りが強い所や、低温となる場所では使用しないでください。極端に暗くなったり、点灯直後にちらつきが発生する原因となります。
- 取り付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつけてください。サビや変色の原因となります。

各部のなまえと取付け方

ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れる。
補強材なしの場合、光モレの原因となります。



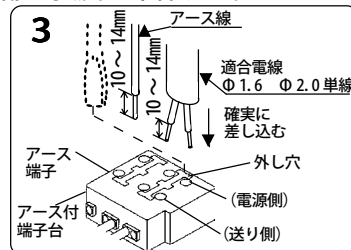
1. 取付前の確認をする

- ・器具質量（約0.9kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 天井にΦ150 ± 2mmの埋込穴をあける

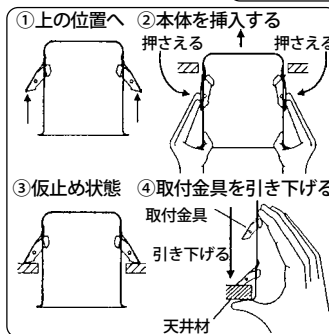
3. 電源線を端子台に接続する

- ・電源線、アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
【D種(第3種)接地工事が必要】
- ・端子台の送り容量は20Aです。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。

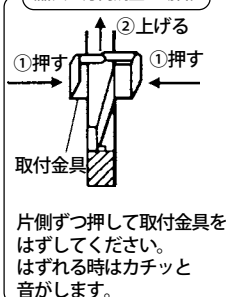


4. 本体を取付ける

- ①取付金具を本体上部へとどめておく。
- ②取付金具を内側へ押さえながら、天井に挿入する。
- ③仮止め状態とする。
- ④取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。
不備がありますと落下の原因となります。



はずす方法 (器具の方向調整の場合)



5. 反射板を取付ける

- ・反射板を支持バネに合わせて押し込む。
ランプを先に取付けると、反射板を取付けることができません。

6. ランプ（別梱）を確実に取付ける

- ①ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。
- ②軽く押し付けた状態でランプを少し回転させ取付ける。（回転角度約15°）
- ③取りはずす場合には、軽く押し付けながら取付けと逆方向に回転させてください。
回転が不十分な場合、落下の原因となります。
ガラス管を強く握らないでください。割れる恐れがあります。



照射物・照射面との距離は10cm以上離してください。
被照射物の火災・変色の原因となります。

取扱説明

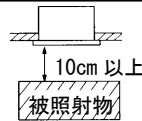
お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、10cm以上離す。被照射物の火災、変色の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災の原因となります。
 - ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
 - 指定以外のランプを使用すると、火災やランプ破損の原因となります。
 - 照明器具には寿命があります。設置して10年（※）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
 - 同時通話機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
 - シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
- 変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。

保証について

- 保証について この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
 - 保証書について ランプ・グロー点灯管・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
 - 補修用性能部品の保有期間 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
- 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 ⚠ 注意 必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因となります。

＜器具の清掃について＞ 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。

シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。

変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

＜ご注意＞ 本商品は枠、反射板内面に抗菌・はつ油塗装を施しています。

抗菌効果を維持する為に器具の表面はこまめに清掃してください。



抗菌とは細菌の増殖を抑制することです。

抗菌加工部	反射板、枠
抗菌剤の種類	無機系（銀）



＜ランプ交換について＞ 器具表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。

推奨ランプ

24形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT24

⚠ 注意

- ・点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。やけどの原因となります。
- ・ランプを確実に取付けてください。
- ・落下の原因となります。
- ・ガラス管を強くねじらないでください。割れる恐れがあります。

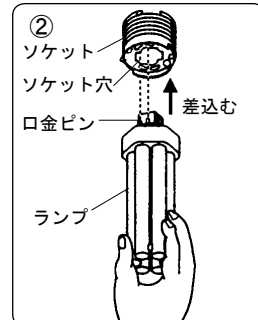
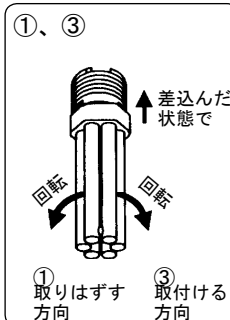
ランプの取付け・取はずし方法

①ソケットに取付いた状態のままランプを少し回転させ取りはずす。（回転角度約15°）

②ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差込む。

③取付ける場合には、差込んだ状態で取りはずしと逆方向に回転させてください。

すべりやすい手袋はご使用にならないでください。
ゴム手袋のご使用をおすすめします。



パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 パナソニックお客様ご相談センター 0120-878-365（フリーダイヤル）
0120-878-236（FAX）

取説 No. NPT21791Z-TB3 0T0305-3123